



◇ 今回は、岩田育実さん（大阪大学外国語学部ロシア語専攻）のレポートです！

Здравствуйте! みなさんこんにちは。初めまして。大阪大学外国語学部ロシア語専攻 4年の岩田育実と申します。本稿では主に大阪大学や大学での経験についてお伝えしたいと思います。

## \*大学の特徴・魅力\*

## 大阪大学 箕面キャンパス

大阪大学外国語学部では 25 言語の中から自分の専攻語を 1つ選択し、その言語を 4年間専門的に学びます。1年次は全学部共通の一般教養及び専攻語、2年次は外国語学部の一般教養及び専攻語、そして 3、4年次はゼミに配属され、より高度な研究を行います。この学部では 4年間言語漬けの日々を送ることができます。



そしてここでは専攻語の他にもたくさんの外国語の授業が開講されています。私は 4年間で英語の他にラテン語、古代教会スラブ語、オランダ語、チェコ語の

授業を受講しました。古代教会スラブ語というのは簡単に言うとロシア語の古典です。外国語学部では今や死語となった古典言語からメジャーな言語まで幅広く授業が開講されている点が非常に魅力的です。

また専攻語が多いので様々な言語を学ぶ友人ができるのもこの学部の良いところです。数多くの言語を知ることで、言語についての知識の幅を広げることができます。言語では自分が思いもよらなかった現象が現れる点がとても興味深いです。

例えばロシア語では、「2人の女の子」と「5人の女の子」と表現する場合、それぞれの「女の子」という名詞の語尾が異なります。英語の場合は two girls, five girls と数詞+名詞複数形で表し、two であろうと five であろうと girls という形は変わりませんが、ロシア語では前者は две девушки、後者は пять девушек となります。このようにロシア語では数詞に合わせて名詞が格変化し（形を変え）、さらにつく数詞の種類によっても格変化のパターンが異なります。

さらにおもしろい点が、名詞の性（ロシア語には男性、女性、中性と名詞に文法上 3つの性があります）によってもこの格変化のパターンが異なることです。英語には名詞に文法上の性がないためわかりにくいと思いますが、すべての名詞を文法上の便宜のため大まかに 3パターンに分類しているとイメージしてください。これを読んで、なんだかよくわからないけど面白そうと思った人には外国語学部の受験をお勧めします。

言語は単なるコミュニケーションツールのみならず、人間の思考ツールという側面も持っています。つまり人間は意思疎通だけでなく物事を考えるときにも必ず言語を使います。奥深く深淵な言語の世界に興味をもってくれる人がいたら幸いです。

ロシア海軍のコートを着ました。



### \* 大学時代の経験 \*

私は3年の冬と4年の秋に学生通訳として通訳ボランティアを行いました。3年の時は海上自衛隊とロシア海軍の交流会、4年の時は北方領土在住のロシア人の山梨県訪問および交流のお手伝いをしました。ここでは初めての通訳の時の体験を紹介します。

2017年1月にロシアのウラジオストクを出港し、京都の舞鶴に寄港したロシア海軍の艦艇が日本に数日間滞在し、日本の海上自衛隊との交流を行った際、私は学生通訳として交流会に参加しました。

1日目は日本側主催歓迎パーティー及び交流会で、ロシア海軍の方と海上自衛隊の方の会話の通訳をしました。初めは緊張して簡単な単語が思い出せなかったり、文法をまちがえたりと散々でしたが、次第に慣れていき、自分のロシア語がなんとか相手に伝わった時や、ロシア語が聞き取れたときの感動は今でも忘れることができません。

2日目の午前にはロシア人の天橋立見学のアテンドをしました。そして午後からはロシア艦艇の一般公開があり、一般の見学者がロシア人に質問するときなどに通訳を行いました。ロシアの海軍制度や、船舶の仕組みについての知識がほとんどなかったため、普段使わないような単語が多く、1日目の夜のパーティーの時より遥かに難しく非常に苦労しました。

この通訳ボランティアを通して、通訳という仕事の厳しさ、難しさを痛感しました。一度通訳に詰まってしまったら、次からはもう相手にされません。能力が求められている仕事において、能力のない人は必要とされない厳しさを実感しました。

さらに通訳の大変なところは他人の頭の中にあることを訳さなければいけないところです。自分が考えていることを訳すのは案外できるものですが、他人の考えを正確に伝えるとなるととても難しいものです。それに加え通訳は様々な分野の知識が必要です。例えばこの海軍の通訳では、軍事用語や艦艇に関する用語を知らない聞き取ることは不可能です。

この2日間悔しい思いもたくさんしましたが、それも含めていい経験をさせてもらいました。自衛隊の護衛艦の中で食事をとったり、船の中を見学したり、自衛隊



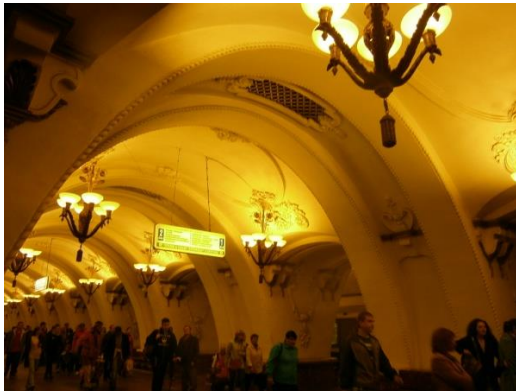
護衛艦ひゅうが

の方と交流したり、どれも貴重な経験となりました。

### \*メッセージ\*

大学は高校と比べてとても自由なところですよ。学業、サークル活動、アルバイトなど何に力を入れるかもすべて自分次第です。自由ということはすべて自分で決めなければならないということでもあるため、最初は大変なこともあると思います。しかしそういう困難に立ち向かっていく強さも養える場所が大学だと思います。また自分の学びたいことや興味のあることをとことん研究できるのも大学の良さです。

関高生のみなさん、そして関高を目指す中学生のみなさんが大学生活に何かしらの憧れや希望をもち、それが今後の受験勉強の支えになれば私としても幸いです。みなさんの今後の高校生活、そしてこれからの大学生活が爽りあり充実したものになるよう応援しております。ありがとうございました。Спасибо большое! 最後におまけとして2年生の9月に1か月間モスクワで研修した際の写真を数枚載せておきます。



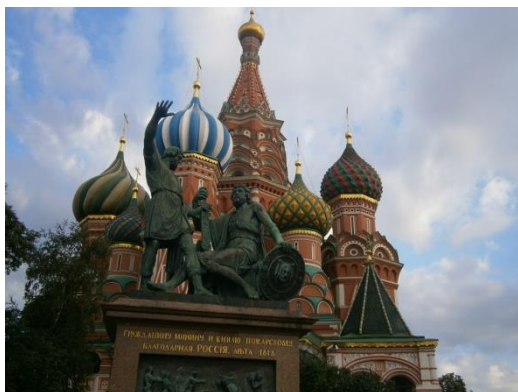
まるで美術館のような地下鉄



ロシア最高峰モスクワ大学



ボリショイ劇場



赤の広場